

基礎分野

【科目構成とねらい】

基礎分野は、生活者としての人間を理解するために、自己を含めた人間の理解と、その人間の生活と健康を理解する内容とした。更に、看護を学ぶ基礎として一貫性を持たせるように、【人間の理解】【人間と健康】【人間と生活】の3領域で科目を構成する。

【人間の理解】では、人間の持つ内面の理解や人間の成長・発達に学習が及ぼす影響、人間の持つ思考に焦点をあてて人間を理解する科目として「心理学」「教育学」「論理学」「哲学」を配置した。

【人間と健康】では、自身の心身の健康を見つめ、自己及び他者の健康づくりを学ぶ科目として、「心の健康」「運動と健康」を配置した。

【人間と生活】では、広く人間の生活を理解すること、生活を営む上で必要なコミュニケーション技術を学ぶ科目として「社会学」「家族論」「文化人類学」「物理学」「情報科学」「コミュニケーション論」「英会話」「パフォーマンス論」を配置した。

【目的】

幅広い教養を学び、感じとる力を培うとともに、生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性の醸成を通して、生活と健康の側面から人間を深く理解し、看護を考え、構成し、表現する力を養うことで、専門職業人として成長するための基礎的能力を養う。

【目標】

1. 生命の尊厳や倫理を学び、看護の対象である人間を理解する。
2. 人間を生活者としてとらえ、様々な環境の中でその人らしく生きる存在として理解を深める。
3. 自己理解・他者理解を深め、コミュニケーション能力を高める。
4. 社会の動向に目を向け、国際社会、情報社会に対応できる能力を養う。
5. 専門職業人として、自立的、主体的に行動できる思考力・判断力を養う。
6. 生涯学習の必要性を理解し、自ら学び続ける力を養う。

【構成および計画】

<講義>

領域	科目	単位数	履修時期		
			1年	2年	3年
人間の理解	心理学	1	○		
	教育学	1		○	
	論理学	1		○	
	哲学	1			○
人間と健康	心の健康	1	○		
	運動と健康	1			○
人間と生活	社会学	1		○	
	家族論	1	○		
	文化人類学	1			○
	物理学	1	○		

領域	科目	単位数	履修時期		
			1年	2年	3年
	情報科学	1	○		
	コミュニケーション論	1	○		
	英会話	1			○
	パフォーマンス論	1	○		
	合計	14	7	3	4

授業計画

科目名	心理学	単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	1 年次
科目 目標	人間の心、行動に関する基礎的知識や人間理解の方法について学び、自己および他者の心、行動について理解する。				
回	内 容	形式		担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>	
第 1 回	心理学を学ぶ意義	講義		外部講師	
第 2 回	知覚と心理	講義		外部講師	
第 3 回	記憶と心理	講義		外部講師	
第 4 回	学習と心理	講義		外部講師	
第 5 回	認知と心理	講義		外部講師	
第 6 回	性格	講義		外部講師	
第 7 回	乳児期・幼児期の発達と心理	講義		外部講師	
第 8 回	児童期の発達の課題と心理	講義		外部講師	
第 9 回	青年期の発達の課題と心理	講義		外部講師	
第 10 回	成人期初期の発達の課題と心理	講義		外部講師	
第 11 回	老年期の発達課題と心理	講義		外部講師	
第 12 回	感情・動機・欲求と心理①	講義		外部講師	
第 13 回	感情・動機・欲求と心理②	講義		外部講師	
第 14 回	集団の心理	講義		外部講師	
第 15 回	評価				
テキスト 参考図書	テキスト無し 適宜、プリント配布		評価 方法	筆記・ レポート等	
備考					

授業計画

科目名	教育学	単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	2 年次
科目 目標	教育が、文化・社会の動態や人間の成長発達に影響することを理解するとともに生涯学習の必要性について考える。				
回	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	教育とは 教育学を学ぶ意義	講義	外部講師		
第 2 回	文化・社会と教育①	講義	外部講師		
第 3 回	文化・社会と教育②	講義	外部講師		
第 4 回	家庭教育	講義	外部講師		
第 5 回	学校教育	講義	外部講師		
第 6 回	教育方法	講義	外部講師		
第 7 回	医療と教育①	講義	外部講師		
第 8 回	医療と教育②	講義	外部講師		
第 9 回	教育評価	講義	外部講師		
第 10 回	アンドラゴジーとペダゴジー	講義	外部講師		
第 11 回	アクティブラーニング	講義	外部講師		
第 12 回	生涯学習	講義	外部講師		
第 13 回	道徳教育	講義	外部講師		
第 14 回	教育が抱える問題	講義	外部講師		
第 15 回	評価				
テキスト 参考図書	テキスト無し 適宜、プリント配布	評価 方法	筆記		
備考	各回の学習を通し、教育のイメージを広げてほしい。筆記試験（第 15 回）の対策も兼ねているため、授業で配布するプリントは大切に保管しておくこと。				

授業計画

科目名	論理学	単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	2 年次
科目 目標	論理的な考え方、表現方法の技術を学び、論理的思考力、文章表現能力を養う。				
回	内 容		形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>	
第 1 回	論理的思考とは 看護において、論理学を学ぶ意義		講義	外部講師*	
第 2 回	論理的に話す——話を構造化して伝える		講義 演習	外部講師	
第 3 回	論理的文章の表現——正確で、すぐに、誤解なく伝わる表現		講義 演習	外部講師	
第 4 回	論理的文章の構造と展開		講義 演習	外部講師	
第 5 回	論理的文章を批判的に読む		講義 演習	外部講師	
第 6 回	論理的文章を書き、相互評価する		講義 演習	外部講師	
第 7 回	形式論理を学ぶ——概念・命題・推論		講義	外部講師	
第 8 回	クリティカルシンキング①——クリティカルシンキングとは		講義 演習	外部講師	
第 9 回	クリティカルシンキング②——論証における理由と結論		講義 演習	外部講師	
第 10 回	クリティカルシンキング③——論証における仮定		講義 演習	外部講師	
第 11 回	クリティカルシンキング④——論証の評価（根拠の信頼性）		講義 演習	外部講師	
第 12 回	クリティカルシンキング⑤——論証の評価（推論の妥当性）		講義 演習	外部講師	
第 13 回	クリティカルシンキング⑥——論証の評価（因果関係）		講義 演習	外部講師	
第 14 回	医療問題を多角的に考える（応用）		講義 演習	外部講師	
第 15 回	評価				
テキスト 参考図書	『論理のスキルアップ：実践クリティカル・リーズニング入門』 アン・トムソン 斎藤浩文・小口裕史 訳 春秋社		評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験 ・授業プリント ・主体的態度 	
備考	事前・事後学習として、配布した授業プリントに取り組む。				

授業計画

科目名	哲学	単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	3 年次
科目 目標	哲学的思考を学習し、人間の生き方、価値観生命の尊厳について理解を深める。				
回	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	哲学とは 哲学を学ぶ意義	講義	外部講師		
第 2 回	人間の存在と認識①	講義	外部講師		
第 3 回	人間の存在と認識②	講義	外部講師		
第 4 回	理性と感情①	講義	外部講師		
第 5 回	理性と感情②	講義	外部講師		
第 6 回	責任と自由①	講義	外部講師		
第 7 回	責任と自由②	講義	外部講師		
第 8 回	生と死①	講義	外部講師		
第 9 回	生と死②	講義	外部講師		
第 10 回	幸福	講義	外部講師		
第 11 回	看護と現象学	講義 演習	外部講師		
第 12 回	生きる上での諸問題 何のために生きるのか	演習	外部講師		
第 13 回	生きる上での諸問題 生命倫理	演習	外部講師		
第 14 回	生きる上での諸問題 臓器移植	演習	外部講師		
第 15 回	評価				
テキスト 参考図書	別途指示	評価 方法	筆記・レポート 等		
備考					

授業計画

科目名	心の健康	単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	1 年次
科目 目標	心の健康について学ぶことで自己の内面の在り様を感じ、自己統制する方法を学ぶ。				
回	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	心の健康とは	講義	外部講師		
第 2 回	心理臨床	講義	外部講師		
第 3 回	メンタルヘルス	講義	外部講師		
第 4 回	心の適応と不適応	講義	外部講師		
第 5 回	医療・看護と心理① ストレスマネジメント、セルフモニタリング	講義	外部講師		
第 6 回	医療・看護と心理② バーンアウト、レジリエンス、アンガーマネジメント	講義	外部講師		
第 7 回	ワークライフバランス	講義	外部講師		
第 8 回	評価				
テキスト 参考図書	別途指示	評価 方法	筆記・レポート 等		
備考					

授業計画

科目名	運動と健康	単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	3 年次
科目 目標	運動が健康に与える効果を学び、健康を維持増進するための方法を理解する。				
回	内 容		形 式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>	
第 1 回	運動と健康を学ぶ意義 レクリエーションの意義		講義	外部講師	
第 2 回	福祉レクリエーション概論と援助の概要		講義	外部講師	
第 3 回	レクリエーション実践の展開 ① 「レクリエーションのゲーム実際と指導法(運動・体力づくり含む)」		演習	外部講師	
第 4 回	レクリエーション実践の展開 ② 「プログラムアレンジのポイントと指導法(運動・体力づくり含む)」		演習	外部講師	
第 5 回	福祉レクリエーション援助の実際 「レクリエーションプログラムの開発」		講義	外部講師	
第 6 回	福祉レクリエーション援助の実際 「福祉レクリエーションプログラムの発表」		演習	外部講師	
第 7 回	スポーツ医学 ・スポーツ医学の重要性 ・テーピング等の手技		講義	外部講師	
第 8 回	評価				
テキスト 参考図書	別途指示		評価 方法	筆記・ レポート等	
備考					

授業計画

科目名	社会学	単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	2 年次
科目 目標	社会的存在としての人間を理解すると共に、多様な社会関係の中での物の見方・考え方を理解する。				
回	内 容		形式	担当教員 <small>* 実務経験のある教員</small>	
第 1 回	社会学とは 社会学を学ぶ意義		講義	外部講師	
第 2 回	集団及び組織 社会集団の概念、第 1 次集団、第 2 次集団		講義	外部講師	
第 3 回	家族 家族の概念、家族の変容、家族の構造と形態、家族の機能		講義	外部講師	
第 4 回	地域社会 地域の概念、コミュニティの概念、都市化・過疎化と地域社会		講義	外部講師	
第 5 回	国際社会 グローバル化と地球規模の課題		講義	外部講師	
第 6 回	生活と経済		講義	外部講師	
第 7 回	生活と労働		講義	外部講師	
第 8 回	人と社会の関係 社会的行為、社会的役割、社会的ジレンマ等		講義	外部講師	
第 9 回	社会問題とは 社会問題のとらえ方、社会病理、逸脱、 差別、貧困、失業、自殺、犯罪、非行、社会的排除、ハラスメン ト、DV 児童虐待、いじめ、公害、環境破壊など		講義	外部講師	
第 10 回	多様性と社会 ジェンダー、マイノリティ、ダイバーシティ		講義	外部講師	
第 11 回	現代社会の課題を取り上げ、調査及び討議する①		演習	外部講師	
第 12 回	現代社会の課題を取り上げ、調査及び討議する②		演習	外部講師	
第 13 回	現代社会の課題を取り上げ、他者にプレゼンテーションする資料 の作成		演習	外部講師	
第 14 回	現代社会の課題の共有		演習	外部講師	
第 15 回	評価				
テキスト 参考図書	別途指示		評価 方法	筆記・ レポート等	
備考					

授業計画

科目名	家族論	単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	1 年次
科目 目標	集団としての家族の構造と機能について理解し、現代家族の諸問題を考える。				
回	内 容	形式		担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>	
第 1 回	家族とは 家族論を学ぶ意義	講義		外部講師*	
第 2 回	家族の構造と機能 家族の歴史的変化	講義		外部講師*	
第 3 回	近代家族の形成 核家族、子どもの誕生、母性愛の発明	講義		外部講師*	
第 4 回	現代家族の特徴① 少子化と子育て	講義		外部講師*	
第 5 回	現代家族の特徴② 高齢化と家族	講義		外部講師*	
第 6 回	家族心理と家族関係	講義		外部講師*	
第 7 回	家族システム理論 家族発達理論	講義		外部講師*	
第 8 回	評価				
テキスト 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・岩間明子・大和礼子・田間泰子、2015、『問いからはじめる家族社会学——多様化する家族の包摂に向けて』有斐閣 ・必要に応じて、プリントを配布します。 ・授業中に適宜、参考になる文献を紹介します。 		評価 方法	レポート	
備考	家族に関する社会的事象員関心を持ち、ニュースなどに目を通し、自分の意見を整理して授業にのぞんでください。				

授業計画

科目名	文化人類学	単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	3 年次
科目 目標	それぞれの文化や社会が、それに関わる当事者にとってどのような意味を持っているのか、当事者の気持ちを尊重しながら理解することを目指す。				
回	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	文化人類学とは 文化の見方を学ぶ	講義	外部講師		
第 2 回	調査方法と成果の還元 文化人類学で用いられるフィールドワークという調査方法を学び、調査で得た情報をどのように社会に還元できるか考える	講義	外部講師		
第 3 回	医療をめぐる文化 その 1 伝統医療について学ぶ	講義	外部講師		
第 4 回	医療をめぐる文化 その 2 宗教者による病気治しを事例に、人々が心身の不調とどう向き合っていたか学ぶ	講義	外部講師		
第 5 回	性の多様性 その 1 LGBTQ を取り巻く社会状況と課題について学ぶ	講義	外部講師		
第 6 回	性の多様性 その 2 家庭内のジェンダーの問題について家事や育児、介護など身近な事例から考える	講義	外部講師		
第 7 回	生死の文化 日本における死生観や葬送儀礼について学ぶ	講義	外部講師		
第 8 回	評価				
テキスト 参考図書	テキストは特に指定しない。授業中に適宜資料を配布する。 参考図書については授業中に随時紹介する。	評価 方法	授業参加度 ・レポート		
備考	授業後、各自で授業内容について振り返り、疑問に思ったことや関心を抱いたことがあれば、できる範囲で調べてみる。 また、授業内容については学生の反応を見ながら変更することもある。				

授業計画

科目名	物理学	単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	1 年次
科目 目標	看護活動の基盤とするために物理学の基礎を理解する。				
回	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	物理学を学ぶ意義、熱 ・熱伝導、対流、輻射 ・比熱、融解熱	講義 演習	外部講師		
第 2 回	生活の中の単位 ・長さ、質量、時間、圧力(mmHg, Pa など)、温度(°C, °F, K)、湿度、速度	講 義 演習	外部講師		
第 3 回	トルクとてこ ・トルクの説明と「てこ」の原理、 ・作用、反作用	講義	外部講師		
第 4 回	重心と安定、不安定 ・力のつりあいと牽引	講義 演習	外部講師		
第 5 回	運動の三法則と力 ・ベクトルの加減 ・ポディメカニクス	講義 演習	外部講師		
第 6 回	圧力 ・血圧、水圧、大気圧 ・低圧持続吸引装置の仕組み ・浸透圧（人工透析の仕組み） ・ボイル・シャルルの法則とガスボンベ ・オートクレーブと圧力釜	講義 演習	外部講師		
第 7 回	音と光 ・音と光の伝わり方、光の分類 ・内視鏡のしくみ ・放射線防御	講義 演習	外部講師		
第 8 回	評価				
テキスト 参考図書	完全版 ベッドサイドを科学する 看護に生かす物理学 学研	評価 方法	筆記		
備考	単元ごとに復習用に練習問題を配布				

授業計画

科目名	情報科学	単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	1 年次
科目 目標	1. 情報科学の概念と情報処理に必要なパソコンの基礎知識、活用技術を身につける。 2. 医療における情報の活用と情報倫理の必要性を理解する。				
回	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	情報リテラシー セキュリティと情報管理 インターネット、E-mail の利用方法	講義 演習	外部講師		
第 2 回	情報教育システムの利用方法 文献検索 医療・看護と情報：ICT、IOT	講義 演習	外部講師		
第 3 回	パソコンの基本操作、使い方 Word の基本操作① 文章作成	講義 演習	外部講師		
第 4 回	パソコンの基本操作、使い方 Word の基本操作② 文章作成と表の挿入	講義 演習	外部講師		
第 5 回	Word の基本操作③ 画像やコラム等含めた文章作成	講義 演習	外部講師		
第 6 回	Word の基本操作⑤ 総合文章の作成	講義 演習	外部講師		
第 7 回	Word の基本操作⑥ 総合文章の作成	講義 演習	外部講師		
第 8 回	Excel の基本操作① データ入力、計算式など	講義 演習	外部講師		
第 9 回	Excel の基本操作② グラフの描写	講義 演習	外部講師		
第 10 回	Excel の応用① オートフィル、絶対参照と相対参照	講義 演習	外部講師		
第 11 回	Excel の応用② 関数の利用・関数の検索	講義 演習	外部講師		
第 12 回	Excel の応用③ 統計処理	講義 演習	外部講師		
第 13 回	PowerPoint の基本操作 スライド作成、デザイン・配色、スライドショー スライドの切り替え効果、図・表・グラフの挿入 等	講義 演習	外部講師		
第 14 回	Case Learning ・情報リテラシー、セキュリティと情報管理 ・Word、Excel の応用	演習	外部講師		
第 15 回	評価		外部講師		
テキスト 参考図書	テキストなし 適宜、プリント配布	評価 方法	筆記・レポート 等		
備考	第 1、2 回は単位認定者も参加する				

授業計画

科目名	コミュニケーション論	単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	1 年次
科目 目標	人間関係の基礎としてのコミュニケーションスキルを身につける。				
回	内 容	形式		担当教員 <small>* 実務経験のある教員</small>	
第 1 回	人間関係の構築 対人コミュニケーションの特徴、 コミュニケーションの様々な形	講義		外部講師*	
第 2 回	対人交流パターンの分析 自らのコミュニケーションのあり方を見つめる	講義 演習		外部講師*	
第 3 回	人間関係とコミュニケーション	講義 演習		外部講師*	
第 4 回	受容的態度と共感	講義 演習		外部講師*	
第 5 回	アサーション アサーショントレーニング	講義 演習		外部講師*	
第 6 回	言語的コミュニケーション活用	講義 演習		外部講師*	
第 7 回	非言語的コミュニケーションの活用	講義 演習		外部講師*	
第 8 回	評価				
テキスト 参考図書	看護学生のための人間関係論 安富由美子 アトリエ華悠	評価 方法		筆記・レポート 等	
備考					

授業計画

科目名	英会話	単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	3 年次
科目 目標	基礎的な英会話を学び、日常生活や看護場面で活用できる力を養う。				
回	内 容		形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>	
第 1 回	日常英会話① Ward、 dialogue、 movie、 oral		講義	外部講師	
第 2 回	日常英会話② Ward、 dialogue、 movie、 oral		講義	外部講師	
第 3 回	日常英会話③ Ward、 dialogue、 movie、 oral		講義	外部講師	
第 4 回	日常英会話④ Ward、 dialogue、 movie、 oral		講義	外部講師	
第 5 回	日常英会話⑤ Ward、 dialogue、 movie、 oral		講義	外部講師	
第 6 回	日常英会話⑥ Ward、 dialogue、 movie、 oral		講義	外部講師	
第 7 回	日常英会話⑦ Ward、 dialogue、 movie、 oral		講義	外部講師	
第 8 回	看護場面の英会話①		講義	外部講師	
第 9 回	看護場面の英会話②		講義	外部講師	
第 10 回	看護場面の英会話③		講義	外部講師	
第 11 回	看護場面の英会話④		講義	外部講師	
第 12 回	看護場面の英会話⑤		講義	外部講師	
第 13 回	看護場面の英会話⑥		講義	外部講師	
第 14 回	看護場面の英会話⑦		講義	外部講師	
第 15 回	評価				
テキスト 参考図書	別途指示		評価 方法	筆記・実技等	
備考					

授業計画

科目名	パフォーマンス論	単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	1 年次
科目 目標	感じ取る力を養うとともに、自分の思いや考えを他者にわかりやすく表現する。				
回	内 容		形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>	
第 1 回	導入 クラスメートとの関係性作り		講義 演習	外部講師	
第 2 回	自己理解と他者理解 他者から見た自分を理解し、新たな自分像を持っていく		講義 演習	外部講師	
第 3 回	マナーと接遇 (テキスト or 参考図書を使用する予定)		講義 演習	外部講師	
第 4 回	プレゼンテーション① 話すことと聞くこと		講義 演習	外部講師	
第 5 回	プレゼンテーション② 「伝えたつもり」から「伝わるような伝え方」へ		講義 演習	外部講師	
第 6 回	プレゼンテーション③ 職場のコミュニケーション (上司・先輩・同僚・後輩など)		演習	外部講師	
第 7 回	プレゼンテーション④ 職場のコミュニケーション (患者など)		講義 演習	外部講師	
第 8 回	評価		演習	外部講師	
テキスト 参考図書	テキスト無し 適宜、プリント配布		評価 方法	演習・ レポート等	
備考					